

令和6年第10回教育委員会議事録

開催日時 令和6年10月22日(火)
午前9時30分～午前11時00分

場 所 八潮市役所 会議室4-2

出席者 教 育 長 井 上 正 人
教育長職務代理者 加 藤 正 道
委 員 木 下 史 江
委 員 高 橋 洋 一
委 員 橋 本 珠 美

事務局出席者 教 育 部 理 事 猪 原 誠 一
教 育 部 副 部 長 小 林 勝 巳
教育部参事兼文化財保護課長
高 山 治
教育部副部長兼学務課長 山 内 修
教 育 総 務 課 長 松 本 啓 介
新設小学校準備室主幹 古 川 剛
社 会 教 育 課 長 倉 林 昌 也
小中一貫教育指導課長 和 田 進
教育総務課庶務係長 関 根 郁 也

○ 開会の言葉及びあいさつ 井上教育長

会議事項

1. 会議録の承認について

(1) 令和6年第9回教育委員会定例会分

【出席教育委員全員が承認】

2. 教育長諸報告について [別紙のとおり]

3. 議 題

【議案第47号については教育長が当事者となるため、教育長は退席する】

議案第47号 [説明者 松本教育総務課長]

議会提出議案に係る意見聴取について

市長等の給与等に関する条例の一部を改正する条例について、教育委員会の意見を求める。

令和6年10月22日提出

八潮市教育委員会教育長 井 上 正 人

提 案 理 由 地方教育行政の組織及び運営に関する法律第29条の規定により、八潮市長から「市長等の給与等に関する条例の一部を改正する条例」に対する意見を求められたので、この案を提出するものである。

【資料説明】

[質 疑]

なし

[教育長職務代理者が採決を行い、出席委員全員の賛成により承認される。]

【教育長が入室する】

令和6年度教育に関する事務の管理及び執行状況の点検・
評価の報告（令和5年度対象）について

地方教育行政の組織及び運営に関する法律（昭和31年法律第162号）
第26条の規定により令和6年度教育に関する事務の管理及び執行状況の点
検・評価（令和5年度対象）を行い、その結果に関する報告書を作成したため、
議決を求める。

令和6年10月22日提出

八潮市教育委員会教育長 井上 正人

提 案 理 由 教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況につ
いて、点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に
提出するとともに、公表したいため、この案を提出するものである。

【資料説明】

[質 疑]

○木下委員

校務ICT推進事業について、校務系ICTと学習系ICTの統合により教
職員の業務が軽減されるとの記載がありますが、こういったことがどのように
軽減されるのか、詳しく教えてください。

●松本教育総務課長

今、先生方が現場で使っているパソコンは2台あります。1つは職員室で使う
通常のパソコンで、校務系システムに対応しています。もう1つは授業で使う
Chromebookで、学習系システムに対応しています。この2台を使い分けるにあ
たっては、そもそも双方のシステムに接点がなく、また、職員室のパソコンのセ
キュリティが高く、データの移行や連携等を想定した仕組みになっていないと
いう状況があります。そのようなことへの対応として、国においても、両システ
ムの統合に向けた実証実験などの取り組みが行われています。

そのため、本市としても、今の校務系システムの入れ替えのタイミングで、学習系システムと統合することも視野に検討していきたいと考えています。これは非常に事務効果が高いものと認識していますが、セキュリティや費用等の課題を踏まえて、検討を進めていきたいと考えています。

○加藤教育長職務代理者

やしお子ども土曜広場について、小学校10校中7校で開催したとのことですが、残り3校では開催できない事情があったのでしょうか。

●倉林社会教育課長

やしお子ども土曜広場の実行委員会のメンバーは基本的には各学校のPTAの方です。コロナウイルスの感染拡大以降、PTA自体の活動を縮小しているところもあり、3校では開催に至りませんでした。

○橋本委員

学校運営協議会の協議内容が形骸化しているとの意見があったとのことですが、そもそもこの協議会は学校教育審議会に対して、協議内容を取りまとめたものを意見として伝えているのでしょうか。それとも、協議内容を受けて、このように改善を行ったというような報告を行っているのでしょうか。

●山内教育部副部長兼学務課長

令和5年度については、学校運営協議会と学校教育審議会は、別々に進めていました。

学校運営協議会では、あくまでも学校運営に関することを中心に協議を行いました。協議内容が形骸化しているということについては、委員から、ここ数年毎年同じようなことが話し合われているのではないかという意見があり、これについては課題として残っているところです。

学校教育審議会では、新設小学校の学校名、校章、校歌、シンボルツリー等を選んでいく議論を行っていました。

校名については、4つまで絞り込んだところで年度を終えました。その後、工

事の契約が不調となり、一旦議論も止まってしまいましたが、この後の会議を経て、令和6年度中に決定する見込みで進めているところです。

○高橋委員

資料館運営事業について、大規模改修に向けた検討や館内設備の修繕といった記載がありますが、現状、施設に不具合等が見受けられるのでしょうか。

●高山教育部参事兼文化財保護課長

現段階で建物設備等に大きな不安はありません。ただし、開館して30年が経過していますので、今後の大規模改修に向けて、準備を進めているところです。

○木下委員

教育相談所運営事業について、相談件数の目標3,500件に対して、実績が3,697件とのことですが、これは延べ人数でしょうか。

また、相談は増えており、それに応えられる体制の構築が大切だと思いますので、今後の教育委員会の対応に期待しています。

●和田小中一貫教育指導課長

相談件数は延べ人数です。

相談のニーズが高まっているところですので、人員の増加、内容の充実について、今後検討していきたいと考えています。

[教育長が採決を行い、出席委員全員の賛成により承認される。]

議案第49号

[説明者 古川新設小学校準備室主幹]

八潮市学校教育審議会委員の委嘱について

八潮市学校教育審議会委員に別紙の者を委嘱したいので、八潮市学校教育審議会規則（平成19年教委規則第2号）第3条の規定により、議決を求める。

令和6年10月22日提出

八潮市教育委員会教育長 井上 正人

提案理由 委員の退任に伴い新たに委員を委嘱したいため、この案を提出するものである。

【資料説明】

[質 疑]

なし

[教育長が採決を行い、出席委員全員の賛成により承認される。]

4. 各部課長報告・連絡事項

●猪原教育部理事

(1) 市内小中学校の様子について

この時期になってインフルエンザが発生しており、学級閉鎖等も出てきています。引き続き子供たちの健康管理を進めていきたいと考えています。

また、この時期は行事が多く、修学旅行に行く小学校が多くなっています。旅行先は箱根や鎌倉が多いです。

その中でも、潮止小学校では、いつも6年生の社会科見学で実施している国会議事堂見学を修学旅行の中に盛り込むという事例も見受けられました。

どの学校でも子供たちは楽しみにしており、先生方もただ行くだけではなく、その前後で教育的効果が高まるような工夫をしているところです。

続いて、体育祭と運動会が10月後半と11月頭に開催されます。中学校では10月26日土曜日、小学校では11月2日土曜日に開催されます。八條北小学校と八條中学校の合同運動会については、10月26日土曜日に開催されます。

各学校では既に事前の練習に入っており、中学校では予行練習も終わっています。

なお、潮止中学校については、5月に開催済みです。

続いて、中学校1、2年生が主体となる新人体育大会兼県民総合スポーツ大会の地区予選が先般開催され、県大会等を目指して各自が頑張りました。

団体種目では、八潮中学校の男子バスケットボール部が越谷八潮の地区で優勝し、この後、県大会に出場します。また、大原中学校の女子バトミントン部が団体で上位に入り、県大会に出場します。また、埼玉の大会で、八幡中学校の柔道部が団体で上位に入り、この後、県大会に出場します。

陸上競技については、既に県大会が終わっており、素晴らしい結果がありました。八潮中学校の2年生男子が100mで3位、大原中学校の2年生男子が400mで2位になり、この後、北関東大会に出場します。

最後に、市内の中学生による駅伝大会が10月18日に開催されました。中川のフラワーパークの辺りから土手沿いを走るというコースで実施されました。

男子の1位が八潮中学校、女子の1位が大原中学校で、この後、11月3日土曜日に開催される県大会に、市の代表として出場します。

●小林教育部副部長

(1) 令和6年9月分「市民の声ボックス」の受付及び処理状況について
教育総務課で1件でした。担当課長から説明します。

●松本教育総務課長

投書の内容は、「市内の幼稚園の一部で次年度より運用が変わるようで、他の幼稚園の入園に影響することへの懸念と、市立幼稚園がないことから私立幼稚園への援助や支援を手厚くすることを希望する」という旨のものでした。

この件については、メールにて回答しています。内容としては、八潮市内の私立幼稚園の来年度の運営に向けた動向について、本市においても情報収集を行っており、状況の把握に努めていること、園への援助や支援については、市からは教材や教職員の研修に要する経費等に対して助成金を交付していること、運営に関する助成については、国及び県が管轄となっていること等をご説明しました。

●松本教育総務課長

(1) 教育委員会第11回定例会の会場変更について

来月19日の教育委員会について、会場を八潮メセナ2階集会室とお伝えしていましたが、庁舎3階の会議室3-4に会場を変更させていただきます。開催時刻は9時30分からで変更はありません。控室は教育長室です。

(2) 八潮市GIGAスクール通信(第47号)について

資料をご覧ください。

GIGAスクール通信第47号では、1人1台端末の活用例について取り上げています。特に今回は、様々な理由により教室で学習することが難しい児童生徒の学びの保証の一環としての活用事例を紹介しています。

写真のとおり、教室外からのオンラインでの授業への参加や、別室登校した児童が教室だけではなく保健室、職員室ともオンラインでコミュニケーションをとりながら学習に取り組んでいる事例を取り上げています。

これらの遠隔授業は、Googleの「ミート」と呼ばれるウェブ打ち合わせ、会議等に使用するオンラインサービスや、授業支援ソフトの教材共有機能など、限られたサービスやソフトウェアを先生方の工夫やアイデアで組み合わせ、個別に実施していただいているもので、先生方のICTに関する知識の多様化や経験の積み重ねが大きな要素となっています。

このため、今回のGIGAスクール通信で併せて取り上げているGoogleのサービスやFigJamなどに関する研修の実施を含め、今後も先生方へのサポートを積極的に行っていきたいと考えています。

●古川新設小学校準備室主幹

(1) 経過報告について

新設小学校開校に向けて、前回の定例会では、工事以外の校名や校章などのスケジュールをお示ししましたが、現在、新設小学校準備室では、施設の整備や什器・教材の購入の参考とするため、他市の先進事例である新設の学校を視察しています。

直近では、さいたま市立美園北小学校、千葉市立美浜打瀬小学校、流山市立市野谷小学校、流山市立南流山中学校を視察しました。

それぞれの学校に特徴がありますが、本市の新設小学校においても導入予定のオープンスペースや小空間の使い方、職員室の空間づくり、最新の教材やICT機器などを視察しました。

各校ともICT化が進み、これまでとは違った学習方法について、様々な取り組みがなされていたり、オープンスペースに机やテーブルを配置して、子どもたちに憩いの場や学習の場を創出していたりなど、創意工夫がなされていました。

新設小学校準備室では、学校開校時の子どもたちの笑顔を想像しながら、準備を進めていきますので、今後も適時ご報告します。

●倉林社会教育課長

(1) 令和6年度青少年の主張大会について

資料をご覧ください。「令和6年度青少年の主張大会」のプログラムです。

例年、プログラムのイラストは順番に中学校から選出していただいたものを使用しています。今年度は八條中学校から選出していただきましたが、どうしても1作品に決められなかったということで2作品を選出していただきました。このため、今回は表面と裏面を活用して2作品を掲示しました。チラシは両面刷り、ポスターは2パターン作成しております。

なお、イラストは八條中学校3年生の北山綾音さん、同じく八條中学校3年生の久保田愛未さんの作品になります。

今年度は11月9日土曜日午後1時から、八潮メセナホールにおいて開催しますが、この度、各校の発表者がプログラムに記載のとおり決まりましたので、報告します。

なお、小中学校については、各校から1名ずつ、小学生については3分間、中学生については5分間のスピーチにより、日常生活を通じて日ごろ考えていることを発表していただきます。

本大会の開催にあたり、改めて委員の皆様におかれましては、お時間が許すようでありましたら、是非とも発表を聞いていただければ幸いに存じます。

●高山教育部参事兼文化財保護課長

(1) 第51回企画展「あの世ー葬送儀礼と死生観ー」の実施結果について

8月10日から9月29日を会期に開催した資料館の企画展では、死者をあの世へ送り出す儀式「葬儀」や六道絵や地獄絵から見る死後の世界のイメージ、あの世と仏事との関連性などを紹介し、日本人の抱く死生観について、その具体相を紹介しました。

死後の世界という多くの人に関心を持たれるテーマやインパクトのある展示会タイトルの効果もあり、会期中に2,903人の観覧者を得ることができました。

また、観覧者から寄せられた感想も好評で、仏教に基づき成立した死後の世界やそれと密接に関係した仏事についてご理解をいただけたものと考えています。

今回の展示では、これまで展示会の観覧率が比較的低かった50代以下の年齢層が全体の65%、初めての来館者も65%を占めていることも特徴で、新たな利用者の獲得にもつながったものと考えています。

(2) 資料館講座「近代皇室葬儀と八潮ー国家の葬儀と自治体の役割ー」

の実施結果について

本講座は企画展関連事業として実施し、展示担当者を講師に、皇族の葬儀である「大喪儀」の挙行にあたり地方の自治体が担った役割とその具体相について館蔵資料を用いて紹介しました。

当日の受講者は24人で、参加者アンケートでは講座内容について高評価をいただきました。

また、館蔵資料を講座資料に用いたことで、資料館の日常業務についての理解にもつながったのではないかと考えています。

(3) 体験講座「古民家での暮らし～カマドでご飯炊き～」の実施結果について

9月28日に開催した体験講座では、本市と包括連携協定を結ぶ淑徳大学の学生が中心となり、資料館付設古民家のカマドでご飯炊きを行い、昔の暮らしの疑似体験を行いました。

参加者は小学生7人を含む17人でした。

炊事という日常の1コマを取り上げ、昔の暮らしと現代生活を比較する企画で、参加者にとっては今の生活をあらためて見直す良い機会となったのではないかと考えています。

講座終了後のアンケートでは、炊き上がったご飯の味の良さに言及した感想が大半を占めましたが、昔の人の暮らしに想いを馳せる感想もあり、講座の趣旨については概ねご理解いただけたと考えています。

●山内教育部副部長兼学務課長

(1) 学校給食について

1点目は、学校給食審議会の開催結果についてです。資料をご覧ください。

10月11日に、今年度2回目の学校給食審議会を開催しました。出席者等は記載のとおりです。

「5. 会議内容」(1) 議事をご覧ください。

「①公設給食センターの各設置事例において考えられるメリット及びリスク一覧について」では、別添の資料1「公設給食センターの各設置事例において考えられるメリット及びリスク一覧（イメージ）」に沿って説明しました。

設置方法①から④のうち、①単独設置というものが、学校給食ビジョンで中間報告の時に示していたもので、1か所の土地に建物を1つとしています。

その後、複数の建物という考え方が出てきましたので、②から④までの複数設置を候補として挙げることになりました。②は、土地1か所で建物も1つですが、建物の中を壁で区切って、複数の給食センターとするものです。③は、土地は1か所で3,500食作れる建物を複数作るというものです。④は土地が別々にあつて、建物も当然別々にあるというものです。

また、衛生管理関係、給食提供関係、持続可能関係、環境・災害関係、面積関係等のそれぞれのメリットとリスクをお示ししました。

質疑応答では、食数に関する質問をいただきました。

続いて「②公設給食センターを整備する上でリスクを含めた優先すべき事項

について」では、別添の資料2「公設給食センターを整備する上でリスクを含めた優先すべき事項」に沿って説明しました。

設置方法毎にリスクなどの分類を設定し、それぞれの評価をお示ししました。

質疑応答では、炊飯機能、災害対応、食育、食物アレルギーについて質問をいただきました。

続いて「③他市の学校給食センター概要について」では、資料3「他市の学校給食センター概要」に沿って説明しました。

近隣で給食センターの建替えが進められている三郷市の状況や、吉川市の給食センターの概要、そして、設置方法②の方式で設置した帯広市と平塚市の状況、さらに、最近、埼玉県内で給食センターが設置された所沢市の状況についてお示ししました。

質疑応答では、他市における保温食缶、災害対応、動線などについて質問をいただきました。

続いて「④優先すべき事項及びリスク分散を踏まえた複数設置の考えについて」では、議事①から③までの説明を踏まえて、多くの意見をいただきました。

主なものとしては、「調理作業中の工程の監視や助言が大切である」、「別々の場所で調理をした方が食中毒のリスクは抑えられる」、「将来の建て替えを想定して対応すべきである」、「最優先は「安全・安心で」「美味しい給食の提供」であるが八潮市の条件も考えなければならない」、「設置方法①は不安が残る、財政的には②、③の順が良く、人の動線を分けられるのであれば②が良い」、「災害時の対応も含めて考えると設置方法④が良い」といった意見がありました。設置方法②、④が良いという意見は複数の委員からありました。

最後に委員にまとめをしていただきました。内容としては、「出された意見を考慮すると、①は現状では考えづらい」、「帯広市の施設について詳細に調査してほしい」、「食中毒が起こらない運用方法を情報収集してほしい」、「防災・災害対応は、本目的ではないが大事である」、「次回の第3回会議では、設置方法②③④について、新たな情報を得ながら検討したい」とのことでした。

この他の添付資料については、会議当日に概要で説明しました。

第3回の会議は、来年1月31日に開催予定となっています。

2点目は、学校給食費の収納状況についてです。資料をご覧ください。

表面は小学校の4月から9月までの「収納額・未納額・収納率」の一覧で、収納率は「99.41%」です。裏面は中学校の一覧で、収納率は「97.90%」です。小中学校を合算すると、収納率は「99.01%」、未納額は「752,768円」です。

現在のところ、収納状況については学校のご協力もあり、順調に進んでいるところ です。

●和田小中一貫教育指導課長

(1) 令和6年9・10月の事件・事故報告について

合計5件で、内訳は、不審者情報が3件、暴力行為が1件、虐待の疑いが1件でした。

不審者情報については、実害等はありませんでした。10月に入り、不審者情報が多くなってきています。この後、急激に日が短くなる時期を迎えますので、交通事故防止も含めた安全指導の徹底を校長会等でも働きかけていきます。

[教育長諸報告及び部課長報告・連絡事項の一括質疑]

○木下委員

新設小学校について、色々な学校の施設等を視察したとのことでしたが、どのようなものだったのでしょうか。

●古川新設小学校準備室主幹

例えば令和6年4月に開校した市野谷小学校では、普通の黒板の他に移動式の電子黒板が設置されています。電子黒板はタッチ式で、教員が指で書いたものが表示されます。

また、音楽準備室はガラス張りになっていて、中に置かれている楽器を外に展示する機能を備えています。これを図工室に応用すれば、子供たちの作成途中の

作品等を展示することができ、廊下を通る別のクラスの子供たちがそれを見ることで、学びに繋がることにもなります。

○橋本委員

資料館の企画展の報告の中で、9月14日の観覧者数が非常に多かったのは、こういった理由が考えられるでしょうか。

また、アンケートの中で第2回の開催を希望する声があれば、今後の開催について考慮されるのでしょうか。

●高山教育部参事兼文化財保護課長

観覧者数については、新聞で取り上げていただいた後などは伸びがあります。また、土日に集中する傾向はあります。

テーマについては、今回の企画展は好評をいただきましたが、今後においても、人々が関心を抱きそうなテーマを検討し、それに見合う展示を構成して市民の方に見ていただきたいと考えています。

○木下委員

市民の声ボックスの投書について、市内の幼稚園の一部が次年度より運用が変わるとするのは、認定こども園等に変わる幼稚園があるのでしょうか。

●松本教育総務課長

認定こども園を含む市内の私立幼稚園の来年度の運営体制について、投書者の方が、市内の幼稚園の全体の定数が減ってしまうと解釈されたものと推測しています。

[教育長が定例会閉会の宣言をする]

会議終了。